

令和6年9月24日

**DXで利便性を向上
子育て支援関連アプリ2件を運用開始＝11月1日～**

市と市教育委員会は11月1日から、子育て支援関連アプリ2件の運用を開始する。綾部市デジタル戦略推進本部会議での決定に基づき行うもの。DX推進のための取り組みとして、今年度は透明ディスプレイの導入などを行ったほか、さらに健康サポートアプリの導入や就職情報を一元化したウェブサイトの構築などを進めている。

【アプリ① 綾部市子育て支援サービス「あやっこナビ」】

妊娠・出産・子育てをサポートするアプリ。既存の母子手帳アプリ「母子モ」を活用する。アプリの導入により、妊娠・出産・子育てと切れ目ない支援と利便性の向上を図る。

このアプリを使うと、妊娠中の胎児の成長や母親の体調管理、出産後のこどもの健診記録や成長過程など、これまで親子健康手帳（母子健康手帳）に記録していた情報を、スマートフォンでも管理できるようになる。さらに、妊娠週数やこどもの月齢に合わせたアドバイス、市の子育て情報などが受け取れる。

同様のアプリの導入は、府北部では舞鶴市に続いて2番目。

◎内容

- | | | |
|---|-------|--|
| 1 | 名称 | 綾部市子育て支援サービス「あやっこナビ」 |
| 2 | 運用開始日 | 11月1日 |
| 3 | 対象者 | 綾部市在住の妊婦、子育て世帯 |
| 4 | 主な機能 | ア) 子育て情報のプッシュ配信
イ) 市内子育て関連施設等の検索
ウ) 妊娠経過やこどもの身長・体重の成長管理
エ) 予防接種のスケジュール管理
オ) 家族間の記録データ共有
カ) 外国語対応（英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語、インドネシア語、タイ語、タガログ語、ネパール語、ベトナム語、ロシア語の計11言語に対応） |
| 5 | 導入費用 | 初期費用110,000円
利用料 33,000円/月 |
| 6 | 広報・周知 | 保健福祉センター等で、妊娠届出や乳幼児健診の際に周知。
市内医療機関や園、子育て支援施設、市の関係施設等でのチラシ配布やポスター掲示、市ホームページへの掲載など |
| 7 | その他 | 従来の親子健康手帳（母子健康手帳）は並行して使用 |

<問い合わせ>

こども支援課 課長 四方和加美 電話0773(42)0020



【アプリ② 保護者連絡システム】

市立小・中学校、幼稚園と保護者等との間の連絡ツールとして新たに導入する。学校からのお便りや各種お知らせの一斉配信、遅刻・欠席・早退の連絡などがシステムを通じて可能となる。

これまで各学校独自に導入していた連絡ツールを一元化することで、保護者の利便性の向上と教職員の働き方改革を推進する。

◎内容

- 1 名称 綾部市保護者連絡システム
- 2 運用開始日 仮運用 10月1日から
・お便りの配信など、一部機能について試験運用
本格運用 11月1日から
・配信機能に加え、欠席連絡などの全ての機能が使用可能になる
- 3 対象者 市立小・中学校、幼稚園の保護者等
※こども1人につき保護者等4人まで登録可能
- 4 主な機能 ア) 学校・園からのお便り等をデジタル配信
イ) 保護者からの遅刻・欠席連絡
ウ) 市から緊急情報などの一斉配信
エ) 外国語対応（英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語、インドネシア語、タイ語、タガログ語、ネパール語、ベトナム語、ヒンディー語、フランス語の計12言語に対応）
- 5 導入費用 初期費用 275,000円
利用料 47,300円/月
- 6 その他 本システムはスマートフォンアプリ以外にもメールで受信可能

<問い合わせ>

学校教育課 課長 斉藤さおり 電話0773(42)4322